

## ■ 1 はじめに

.....  
 匠瑳市議会平成31年3月定例会が開会され、平成31年度当初予算案及び関係諸議案の御審議をお願いするに当たり、新年度における市政運営方針の概要と私の所信を申し述べさせていただきます。

### ▶ 平成の、その次の時代に向かって

はじめに、来たる平成31年度は、平成として迎える最後の年度であるとともに、5月1日には皇位継承が行われ、新しい時代へと向かう歴史的な転換の年であります。

また、本市が目指す将来都市像を「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匠瑳市」と定め、平成20年度から推進してきた「匠瑳市総合計画」を締め括ることになります。そして、本市の更なる飛躍を目指す、向こう12か年のまちづくりの指針となる「第2次匠瑳市総合計画」を市民の皆様の知恵を拝借しながら策定することになり、本市にとりましても、大きな節目の年であります。

この計画の策定に当たりましては、これまで築き上げられたものを更に推し進めることを主眼に置くとともに、市民にわかりやすく、地に足をつけた実効性のある計画とするよう傾注してまいり所存であります。

議員各位並びに市民の皆様には、重ねての御支援、御協力をお願い申し上げます。

### ▶ 「一つ上のまちづくり」を目指して

さて、わが国の経済は、アベノミクスの推進により、日経平均株価や有効求人倍率等の経済指標は確実に改善し、GDPは名目、実質ともに過去最大規模に拡大しております。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、日本経済の更なる活性化が期待されています。

こうした明るい傾向が続いている一方で、人口減少や少子高齢化の進行は、国や地方を問わず喫緊の重要課題となっております。この難局に対応するため、国においては、子どもたちや子育て世代への大胆な投資、社会保障の充実、財政健全化のバランスをとりながら「人づくり革命」を進めるとともに、<sup>エーアイ</sup>AI（人

工知能) やロボット、あらゆるモノがインターネットにつながる<sup>アイオーティ</sup> I o T等の技術革新によって「生産性革命」を実現することとしております。

このような急速に変化する社会情勢に対処し、本市が抱える諸課題に的確に対応するためには、継続して行財政改革に取り組み、限られた財源と資源を最大限に活用していく必要があります。

また、私のマニフェストで掲げた基本方針の1つである「市民参加のまちづくり」をより一層推し進め、市民の皆様と一体となって、ともに考え、ともに行動する体制を充実させていく必要があると考えております。

「一つ上のまちづくり」を目指し、「市民とともに創る協働のまち 匠瑳」の実現に向け、一意専心、取り組んでまいります。

## ■ 2 財政状況と予算編成方針

次に、財政状況と予算編成方針について申し上げます。

本市の財政状況は、これまでの行財政改革の取組により、堅実な財政運営がされております。

歳入においては、市税収入の確保と交付金等の伸びにより、経常一般財源は増加しましたが、普通交付税において、合併算定替の縮減率が拡大することから、今後、経常一般財源の増加は見込めず、自主財源の確保が急務となっております。

一方、歳出においては、健康・福祉・医療・介護の充実に向けた社会保障経費や、快適で安全な都市基盤整備の促進に向けた経費等の増加に加え、老朽化した公共施設や社会インフラの維持費等においても増加が見込まれることから、財政状況は一層厳しくなることが予想されます。

こうした状況を踏まえ、平成31年度当初予算は、

- 1 総合計画の着実な推進
- 2 「一つ上のまちづくり」の実現
- 3 地方創生への積極的な取組
- 4 財政健全化に向けた財政基盤の確立

の4つの基本方針に基づいて編成しました。

その結果、平成31年度匠瑳市一般会計当初予算案の総額は、平成30年度

当初予算と比較して、12億6,300万円(8.9%)増の154億8,200万円、また、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、病院事業会計を合わせた匝瑳市の予算総額は、前年度比14億5,281万3,000円(5.7%)増の271億2,888万円としたところ  
であります。

### ■ 3 施策の概要

次に、平成31年度において、重点的・戦略的に取り組む施策の概要を、私の政治姿勢を具現化するものとしてお示しした「マニフェスト」の5つの重点施策に沿って申し上げます。

#### ▶ 重点施策1 健康・福祉・医療・介護の充実 ～生きがいに満ち、笑顔があふれるまちづくり～

第1に、重点施策1に掲げる「健康・福祉・医療・介護の充実～生きがいに満ち、笑顔があふれるまちづくり～」についてであります。

この施策では、健康・福祉・医療・介護の各分野が連携して、市民が健康の喜びと生きがいを持って、安心して暮らすことのできるまちづくりを推進します。

また、地域資源を十分活用して、高齢者や障害者等を見守り、地域で子どもを育てるまちづくりを進めることとしております。

平成31年度におきましては、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を構築するため、「匝瑳市子育て世代包括支援センター」を4月に開設します。

この支援センターでは、地域の中で安心して楽しく子育てができるよう、様々な機関との連携強化を図り、窓口や電話での相談、家庭訪問や健診時などを通して、妊娠、出産、育児に対する不安などを抱える方を支援してまいります。

また、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減や少子化対策の充実を図ることを目的とした「特定不妊治療費助成事業」及び骨髄等の移植の促進を図ることを目的とした「骨髄移植ドナー支援事業」を新たに実施してまいります。

さらに、高齢者の自立した生活を支援するため、その中核的な役割を担う「地

域包括支援センター」を、民間委託により1か所増設し、地域包括ケアシステムの充実を図ります。これによって市民の相談窓口の充実を図るほか、介護予防や認知症施策など市民及び関係機関等との連携・協働の体制づくりを強化してまいります。

市民病院につきましては、新改革プランに基づく経営健全化施策を継続して実施するとともに、外部の専門家による経営診断や分析、病院内部に設置した経営改善委員会から提案された改善策の実施等による経営改善に取り組んでまいります。

## ▶ 重点施策2 地域経済の活性化 ～活気に満ち、はつらつとしたまちづくり～

第2に、重点施策2「地域経済の活性化～活気に満ち、はつらつとしたまちづくり～」についてであります。

この施策では、各種産業の生産・経営基盤の強化支援を図ります。

また、農林水産業と商工業、観光業の連携を促進し、個性ある地域産業の育成・発展を支援します。

さらに、労働力の確保と市民がいきいきと労働や生産活動等に参加できるまちづくりを進めることとしております。

平成31年度におきましては、「植木のまち匠瑳」、「匠瑳の植木」を大規模展覧会や商談会等のイベントにおいて国内外に広くPRし、知名度の向上や販路の拡大を図るとともに、トップセールスによる情報発信を積極的に行い、「日本一の植木のまちづくり」を推進してまいります。

また、空き店舗を活用して新たな事業を行う方に対し、改装費や賃借料の一部を助成する「空き店舗活用支援事業」に取り組み、事業者による創業を支援するとともに、従業員等の雇用創出、商工業の活性化を図ってまいります。

さらに、本市の基幹産業である農業の従事者を確保するため、次世代を担う意欲ある新規就農者へ資金を援助する「農業次世代人材投資事業」に取り組み、新規就農者の掘り起こしや農業後継者の育成、持続可能な力強い農業の実現に向け、支援の充実を図ってまいります。

▶ **重点施策 3 都市基盤整備の促進 ～自然と共生し、快適で安全なまちづくり～**

第3に、重点施策3「都市基盤整備の促進～自然と共生し、快適で安全なまちづくり～」についてであります。

この施策では、快適で利便性の高い生活環境づくりを推進します。

また、九十九里海岸等の、かけがえのない自然と共生するとともに、ごみ処理施設や幹線道路等の都市基盤を計画的に整備することとしております。

平成31年度におきましては、都市基盤の整備指針である「匝瑳市都市計画マスタープラン」が目標年次を迎えることから、このプランの改定作業に取り組んでまいります。現在策定中の「第2次匝瑳市総合計画」の内容を踏まえ、次世代に誇れる魅力あるまちづくりの指針となるよう、慎重に作業を進めてまいります。

また、住宅のリフォーム工事を行う場合に、その工事に要する費用の一部を助成する「住宅リフォーム補助事業」を創設し、市民が安心して暮らせる住宅環境の整備と地域経済の活性化を図ってまいります。

匝瑳市・銚子市・旭市による3市の新たな広域ごみ処理施設につきましては、平成33年度の稼働開始に向け、現在整備中であります。適切なごみ処理体制を確保するため、ごみの分別方法や処理コストの縮減等について、構成3市での検討・協議を進めてまいります。

飯倉駅周辺を中心とした「生涯活躍のまちづくり」につきましては、昨年の「認定こども園」の開設に続き、4月に「特別養護老人ホーム」が開設されます。さらに、平成32年度末までに、「サービス付き高齢者向け住宅」及び「地域交流拠点施設」の開設が計画されており、東京都をはじめとする都市部等からの移住が見込まれております。本市への新たな人の流れを創ることで、地域経済、雇用及び地域コミュニティの活性化を図ってまいります。

▶ **重点施策 4 生涯活躍できる人づくりと交流活動の促進 ～個性豊かに学び、人々が輝くまちづくり～**

第4に、重点施策4「生涯活躍できる人づくりと交流活動の促進～個性豊かに学び、人々が輝くまちづくり～」についてであります。

この施策では、市民一人ひとりがお互いを尊重し、理解し合ってそれぞれの能力と意欲が十分発揮できる環境づくりを進めます。

また、地域の歴史や伝統文化の継承、新たな文化創造に向けた市民活動の支援及びスポーツ施設の充実と利用促進に努めてまいります。

さらに、人口減少を抑制するため、移住・定住を促進することとしております。

平成31年度におきましては、本市への転入を促進する施策として効果を上げてきた「転入者マイホーム取得奨励金交付事業」に加え、移住を検討している方に一定期間、市内の住宅に居住し、日常生活を体験していただく「そうさ！！ 匠瑳で暮らそう お試し住宅事業」を新たに実施し、本市の生活環境への理解を深め、移住を促進してまいります。

教育施設の整備としましては、引き続き「小学校トイレ大規模改造事業」を実施し、学校トイレの洋式化を推進するとともに、小学校、中学校及び幼稚園の普通教室等に空調設備を設置する「学校空調設備整備事業」を迅速に進め、児童・生徒等の健康管理と教育環境の向上を図ってまいります。

また、小学校に設置されているブロック塀のうち建築基準法に適合していないものについて撤去又は改修を行う「小学校ブロック塀改修事業」に取り組み、学校施設における安全性の確保に努めてまいります。

生涯スポーツ施設の整備につきましては、子どもから高齢者まで幅広い世代が集い楽しむことができる「パークゴルフ場整備事業」を進め、平成31年度中のオープンを目指して取り組んでまいります。

## ▶ 重点施策5 市民参加による市政の推進 ～市民と行政が協働し、市民が主役のまちづくり～

第5に、重点施策5「市民参加による市政の推進～市民と行政が協働し、市民が主役のまちづくり～」についてであります。

この施策では、市民と行政が一体となって、ともに考え、ともに行動する体制の充実を図ります。

また、ボランティア活動や地域で活動する団体を支援して、市民一人ひとりが地域活動に積極的に参加できるまちづくりを進めていくこととしております。

平成31年度におきましては、地域における様々な課題やニーズを多様な主体と共有し、その解決に向けた取組に対し助成を行う「市民提案型事業助成制度」を継続し、市民と行政がパートナーシップを築きながら地域の課題解決に取り組んでまいります。

また、これまで第3次にわたる行政改革大綱を策定し、行財政改革を推進してまいりましたが、平成31年度においては、「第3次匝瑳市行政改革大綱」の計画期間が終了することから、継続して改革を推進するための「第4次匝瑳市行政改革大綱」を策定し、将来にわたって持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

なお、匝瑳市議会平成30年12月定例会において可決されました「匝瑳市学校給食の完全無料化に関する決議」につきましては、将来の財政推計等と照らし合わせて検討しましたが、平成31年度からの実施は困難と判断し、今後、千葉県内の近隣団体を含め、全国の自治体の動向を調査してまいりたいと考えております。

#### ■ 4 むすびに

---

以上、新年度を迎えるに当たり、市政運営に対する基本的な考え方をお示しし、重点的・戦略的に取り組む施策の概要とともに、私の所信を申し上げますた。

先人の英知と努力により受け継がれてきたこの匝瑳市を、平成の、その次の時代を担う子どもたちにしっかりと継承していかなければなりません。

匝瑳市に関わりのある誰もが「ふるさと匝瑳」を大切に想い、「匝瑳市に住みたい」「住み続けたい」と思える「一つ上のまちづくり」に全力で取り組んでまいる覚悟であります。

議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力、御支援を心からお願い申し上げます次第であります。